

## 維持管理・環境管理専門委員会の活動

【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。  
ご了承下さい。

# 活動報告

- 第39回協議会(平成27年3月11日)以降、会議を2回開催しました。
- 第7回(5月22日)および第8回(6月25日)の会議で、「残りの整備」と「組織体制の検討」について協議しました。

会議

上尾市文化センター

第7回 平成27年5月22日  
9:30~11:40



第8回 平成27年6月25日  
9:30~11:20



## 1. 残りの整備（ハンノキ林）

- 昨年度整備した下池の試験掘削地の状況から、今後の移植のための整備地の掘削高を検討しました。

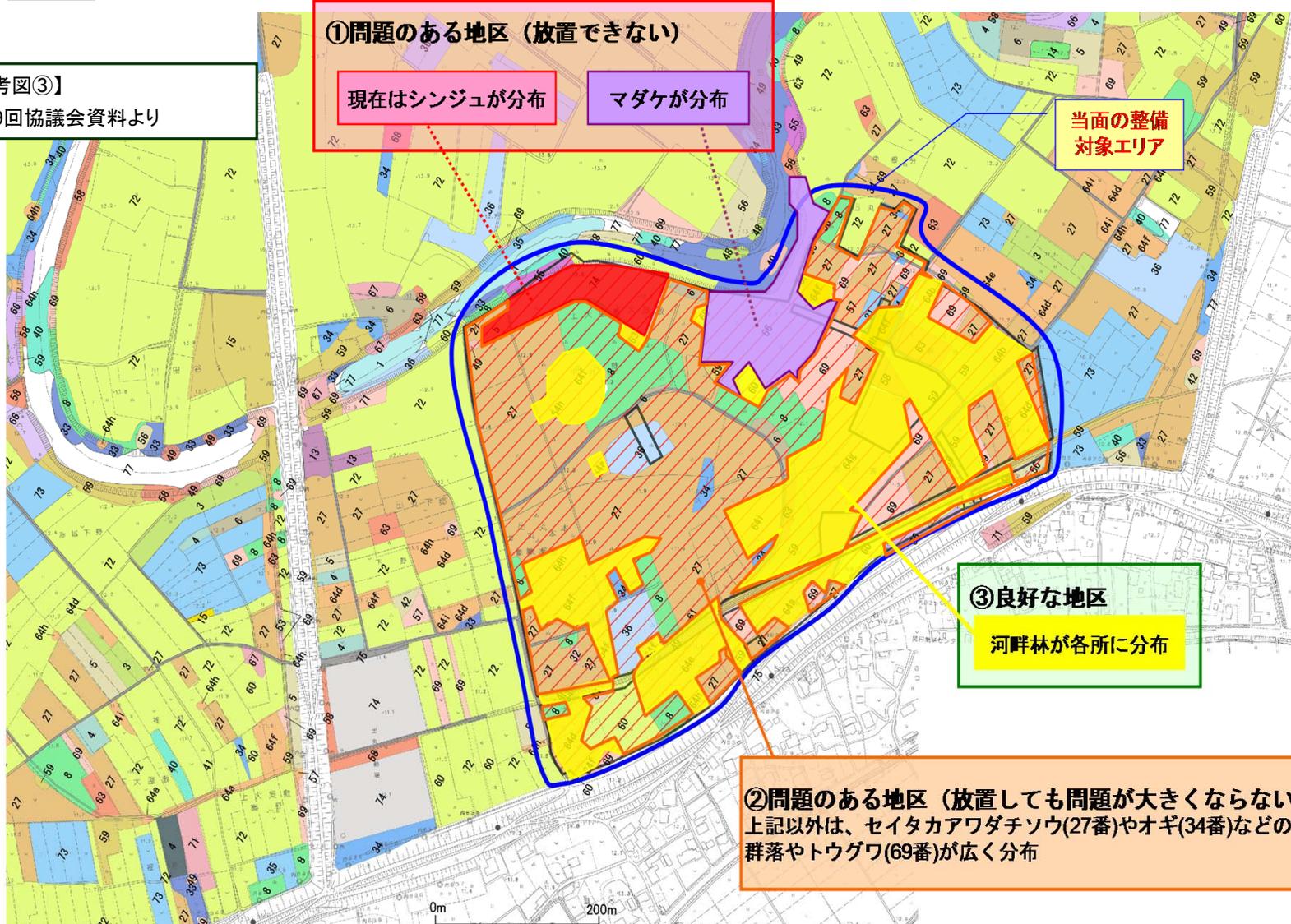
# 下池のハンノキ林の整備について

○下池河畔林の整備範囲は、外来種の侵入が著しく、放置できない下図①の場所となっています。  
このエリアを整備することについて、第29回協議会での決定事項を第7回維持管理・環境管理委員会でも確認し、この方針どおりとなりました。

□ 当面の整備対象エリア  
▨ 官地(国、市町)

## 下池河畔林の現状

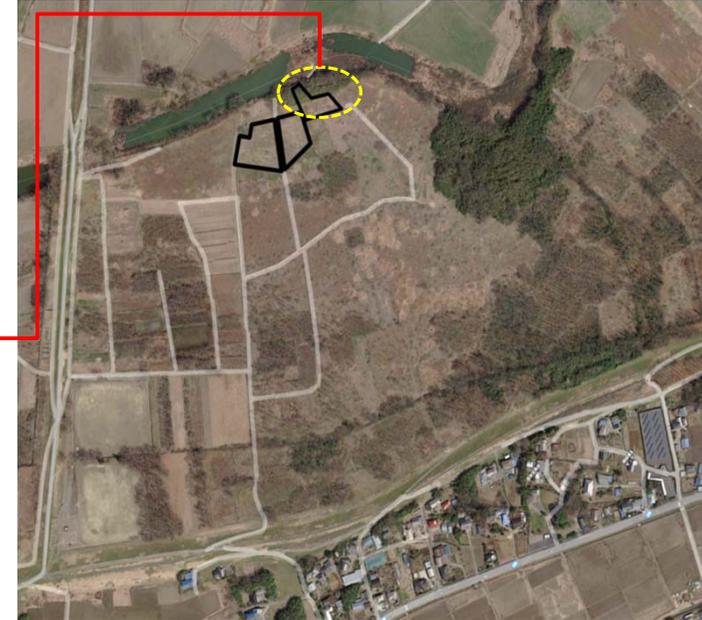
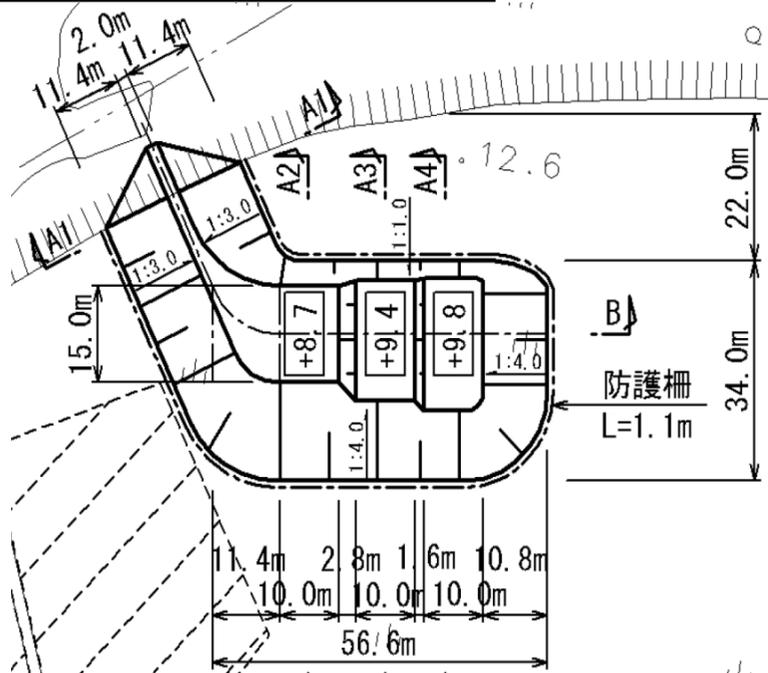
【参考図③】  
第29回協議会資料より



# 下池のハンノキ林の整備について

○残りの整備範囲の整備方法（掘削高さ）を検討するために平成26年度に3段の高さの掘削を行いました。

平成26年のハンノキ移植のための試験整備地



- 下池のH16-25の10年間の水位の平均は、1.5回/年発生する水位はA.P.+9.8m程度、平均水位はA.P.+9.4m程度、最低水位はA.P.+8.9m程度となっています。
- 上記をもとに高さを設定しています。

年	データ数	最低水位	平均水位	濁水位	低水位	平水位	豊水位
H16	18						
H17	365	8.82	9.35	8.83	9.31	9.38	9.44
H18	120						
H19	204	8.82	9.24	8.82	9.09	9.30	9.35
H20	214	9.33	9.65	9.40	9.51	9.67	9.74
H21	0						
H22	0						
H23	308	8.63	9.38	8.70	9.34	9.44	9.51
H24	297	8.65	9.27	8.65	9.18	9.31	9.50
H25	180						
平均		8.85	9.38	8.88	9.28	9.42	9.51

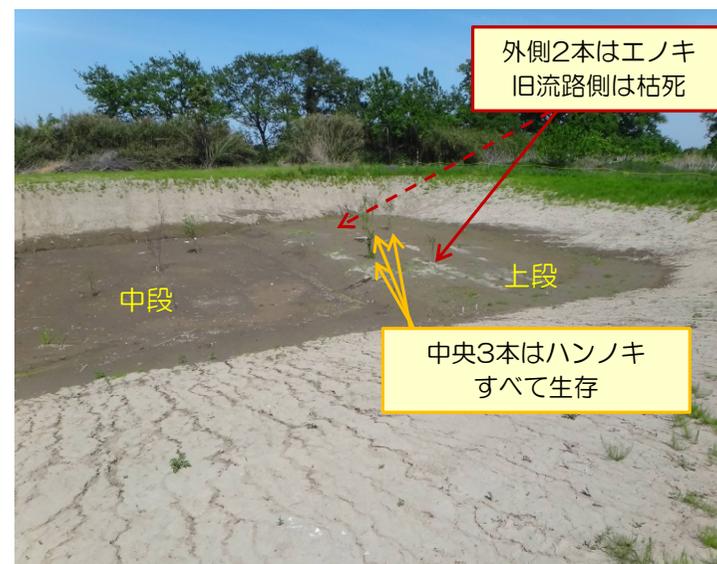
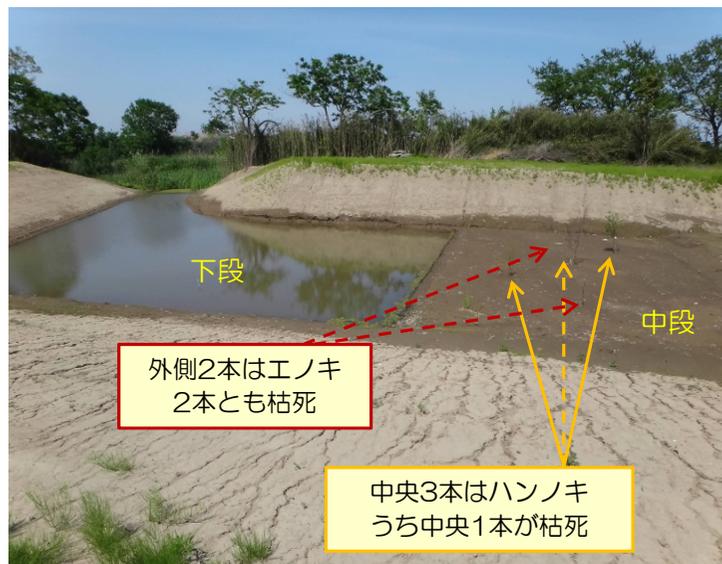
豊水位:1年を通じて95日 はこれを下回らない水位  
 平水位:1年を通じて185日 はこれを下回らない水位  
 低水位:1年を通じて275日 はこれを下回らない水位  
 濁水位:1年を通じて355日 はこれを下回らない水位  
 ※データ数が少ない年は確率により算定した。

# 下池のハンノキ林の整備について

- 試験的に植えたハンノキについては、中段で1本枯死が見られましたが、他の5本（中段2本、上段3本）は順調に生育している状況でした。エノキは上段の1本が生存、他の3本（中段2本、上段1本）は枯死しました。
- 下段については常時冠水しており、この高さでのハンノキの生育は困難と考えられますが、中段・上段では生育可能と考えられます。
- その他の植物の生育状況はまだ明確ではありませんが、中段よりも上段の方が様々な種が入ってきています。中段は湿生植物・抽水植物、上段は湿生植物・乾生植物であり、土壤水分の違いを反映しています。ハンノキ幼木の生育に障害となるような大型の外来種やつる性植物としては、上段において確認されたオオブタクサが挙げられます。（なお、埋土種子由来と考えられる種はおそらく無いと推測されます。）

⇒ 下段ではハンノキの生育が困難であり、上段ではハンノキ幼木の生育に障害となる他の植物の侵入が想定されることから、**中段を基本的な掘削高さ**とします。

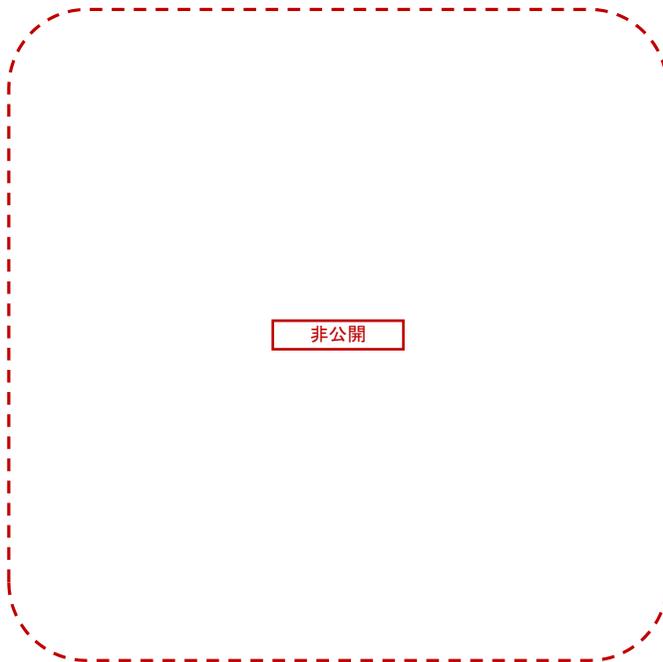
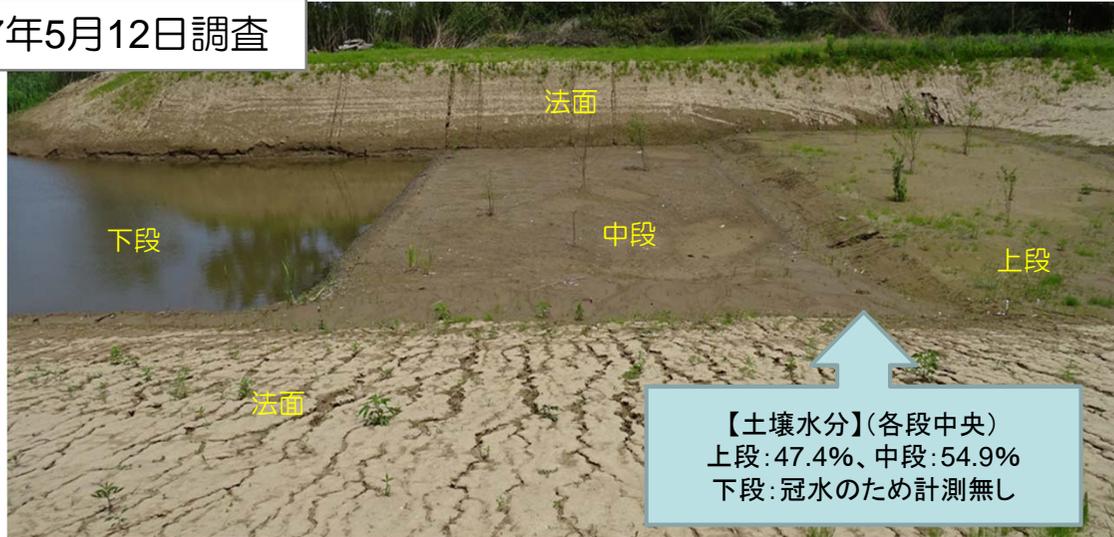
- ・ なるべく植生管理の労力を少なくすることを想定すると、**現在の中段と同じかこれよりも下げる方針**が考えられます。
- ・ ハンノキはある程度の過湿に耐えられると想定されます。また、**水位変動の影響を受けやすい場**とすれば、**自然更新を期待出来る可能性**も高まります。
- ・ もし過湿や冠水によりハンノキの生育が「良くない」状態となったとしても、自然再生の目標はハンノキの壮齢林を形成することでは無くミドリシジミが利用可能な若齢林の形成であるため、これまでの移植地のモニタリング結果からは、**ミドリシジミの利用面においては大きな問題とはならないと推測**されます。



平成27年4月24日撮影

# 下池のハンノキ林の整備について

平成27年5月12日調査



非公開

平成27年6月15日撮影



試験移植したハンノキの生存個体  
中段(左)・上段(右)



旧流路側の急傾斜の法面にカワセミが営巣している可能性



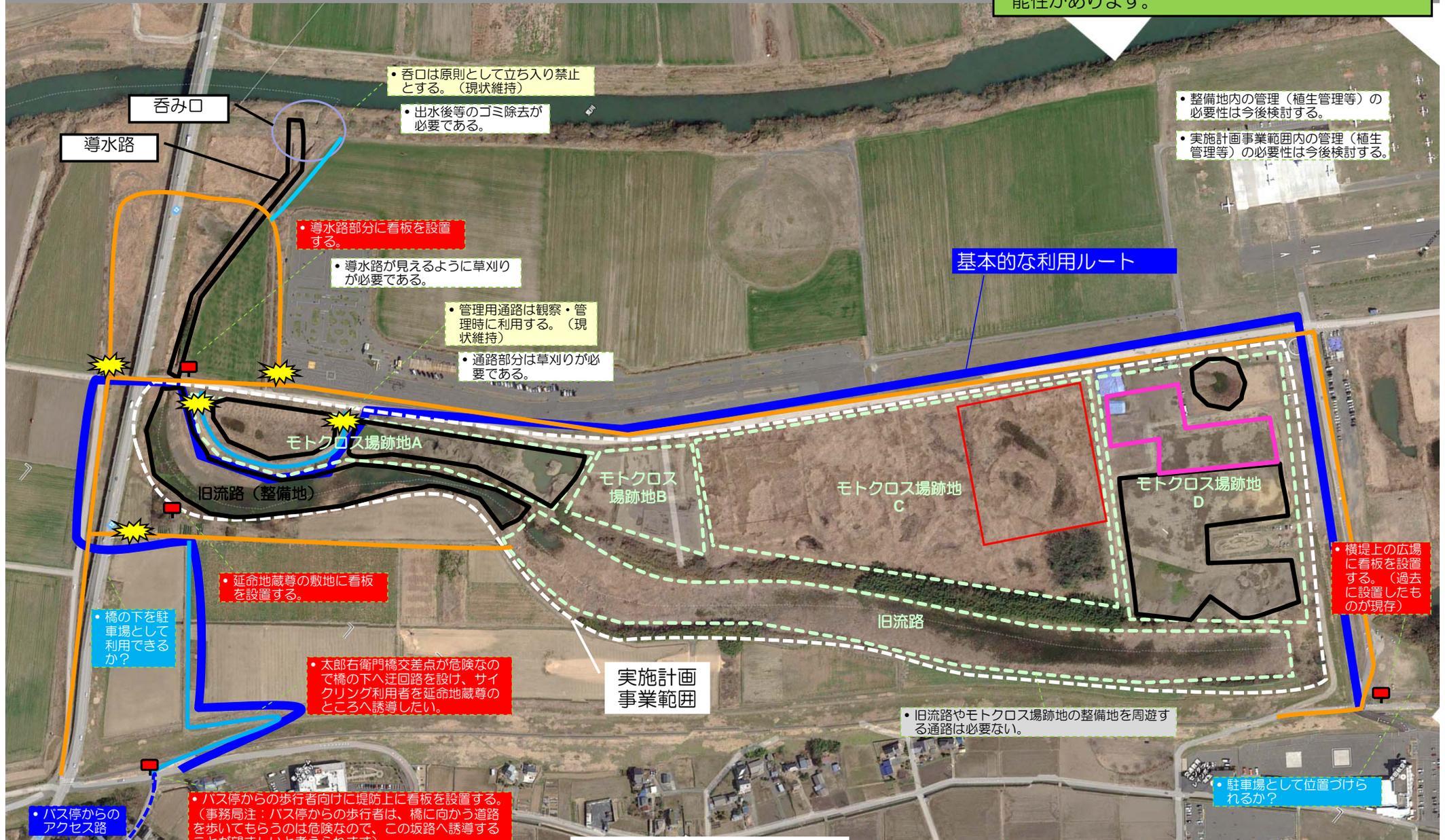
堤防側の緩傾斜の法面にオオバクサ多数侵入

## 2. 残りの整備（通路・看板）

- 昨年度の現地確認結果を踏まえて、通路と看板の設置案について検討しました。
- 現状の通路・通路跡の管理者について確認中であるほか、ハンノキ移植地などの未整備部分があるため、現在の案は当面の基本案です。今後、変更する可能性があります。

# 上池の通路・看板整備（案）

●現状の通路・通路跡の管理者について確認中です。  
●現在の案は当面の基本案です。今後、変更する可能性があります。



呑み口は原則として立ち入り禁止とする。（現状維持）

出水後等のゴミ除去が必要である。

導水路部分に看板を設置する。

導水路が見えるように草刈りが必要である。

管理用通路は観察・管理時に利用する。（現状維持）

通路部分は草刈りが必要である。

整備地内の管理（植生管理等）の必要性は今後検討する。

実施計画事業範囲内の管理（植生管理等）の必要性は今後検討する。

基本的な利用ルート

モトクロス場跡地A

モトクロス場跡地B

モトクロス場跡地C

モトクロス場跡地D

旧流路（整備地）

旧流路

実施計画事業範囲

橋の下を駐車場として利用できるか？

延命地藏尊の敷地に看板を設置する。

太郎右衛門橋交差点が危険なので橋の下へ迂回路を設け、サイクリング利用者を延命地藏尊のところへ誘導したい。

旧流路やモトクロス場跡地の整備地を周遊する通路は必要ない。

横堤上の広場に看板を設置する。（過去に設置したものが現存）

バス停からのアクセス路

バス停からの歩行者向けに堤防上に看板を設置する。（事務局注：バス停からの歩行者は、橋に向かう道路を歩いてもらうのは危険なので、この坂路へ誘導することが望ましいと考えられます）

駐車場として位置づけられるか？



□：特定の場所モニタリング地点

≪ 整備地 ≫	
平成26年度まで	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>
平成27年度以降	<span style="border: 1px solid magenta; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>

【道路の凡例】

<span style="border-bottom: 2px solid orange; width: 20px; display: inline-block;"></span>	自動車通行可能
<span style="border-bottom: 2px solid blue; width: 20px; display: inline-block;"></span>	歩行者通行可能（軽トラック等は通れる場所もある）
<span style="border-bottom: 2px dashed purple; width: 20px; display: inline-block;"></span>	道路跡が残っている（路面状態により歩ける場所もある）
<span style="border: 2px dashed red; padding: 2px; display: inline-block;">★</span>	車止め

# 中池の通路・看板整備（案）

●現状の通路・通路跡の管理者について確認中です。  
●現在の案は当面の基本案です。今後、変更する可能性があります。



● 駐車場として位置づけられるか？

● 旧流路水際に看板を設置する。

● 横堤上の広場に看板を設置する。（過去に設置したものが現存）

● 実施計画事業範囲への入り口に看板を設置する。

基本的な利用ルート

実施計画事業範囲

● 通路は現状のものを活用し、利用しやすくするための整備をする。（歩行者は歩きやすくするとともに、車の無制限の立ち入りについては制限をかけるか検討する。

● 現状の環境を変更する整備はしていない。  
● 実施計画事業範囲内の管理（植生管理等）の必要性は今後検討する。

● 民地内になるが、中池・下池をつなぐルートとして位置づけたい。適所に看板を置きたい。

□：特定の場所モニタリング地点

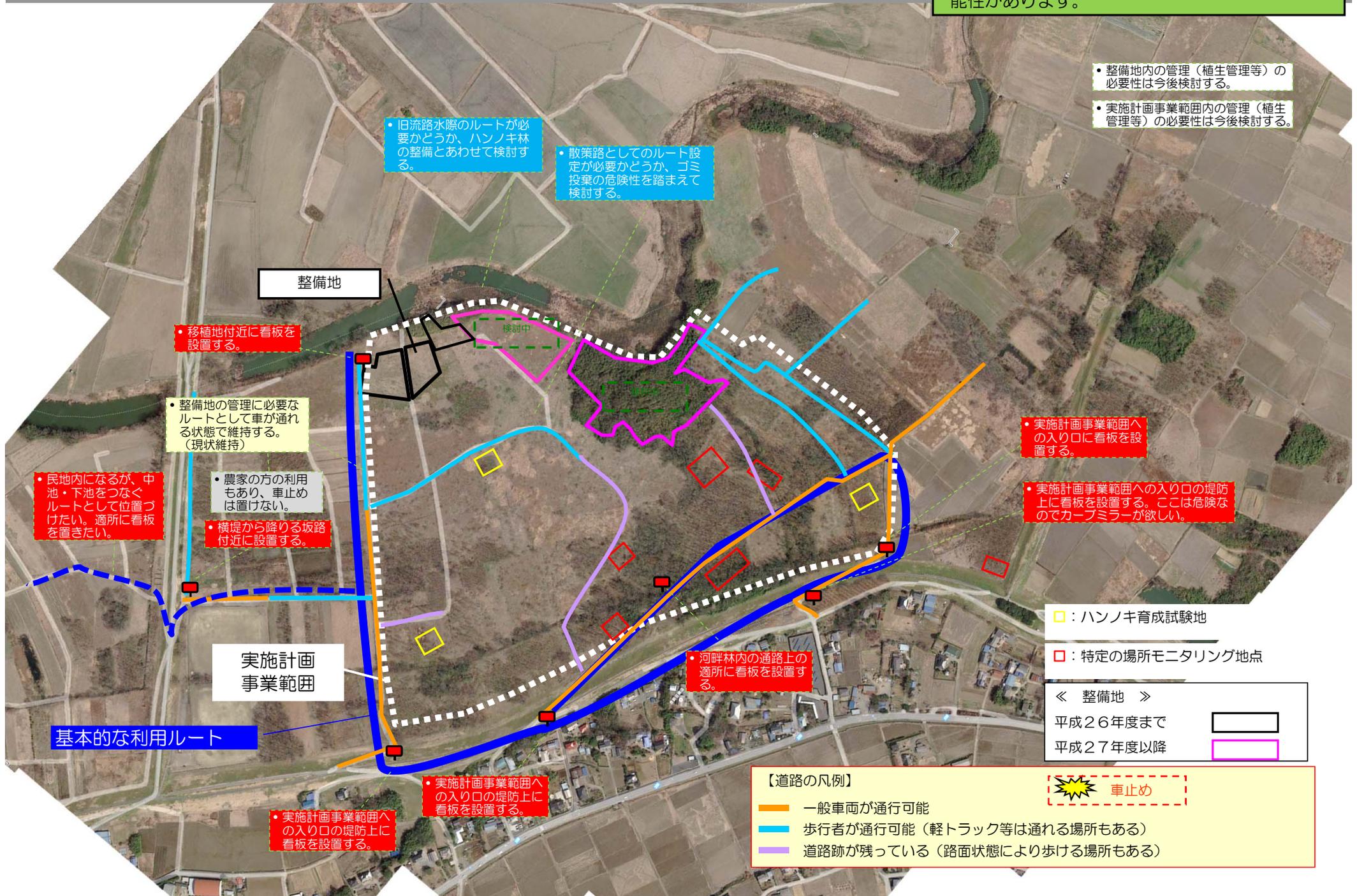
【道路の凡例】

- 一般車両が通行可能
- 歩行者が通行可能（軽トラック等は通れる場所もある）
- 道路跡が残っている（路面状態により歩ける場所もある）



# 下池の通路・看板整備（案）

●現状の通路・通路跡の管理者について確認中です。  
●現在の案は当面の基本案です。今後、変更する可能性があります。



旧流路水際のルートが必要かどうか、ハンノキ林の整備とあわせて検討する。

散策路としてのルート設定が必要かどうか、ゴミ投棄の危険性を踏まえて検討する。

整備地内の管理（植生管理等）の必要性は今後検討する。  
実施計画事業範囲内の管理（植生管理等）の必要性は今後検討する。

整備地

移植地付近に看板を設置する。

整備地の管理に必要なルートとして車が通れる状態で維持する。（現状維持）

民地内になるが、中池・下池をつなぐルートとして位置づけたい。適所に看板を置きたい。

農家の方の利用もあり、車止めは置けない。

横堤から降りる坂路付近に設置する。

実施計画事業範囲への入り口に看板を設置する。

実施計画事業範囲への入り口の堤防上に看板を設置する。ここは危険なのでカーブミラーが欲しい。

実施計画事業範囲

河畔林内の通路上の適所に看板を設置する。

□：ハンノキ育成試験地

□：特定の場所モニタリング地点

《 整備地 》  
平成26年度まで   
平成27年度以降

基本的な利用ルート

実施計画事業範囲への入り口の堤防上に看板を設置する。

実施計画事業範囲への入り口の堤防上に看板を設置する。

【道路の凡例】

- 一般車両が通行可能
  - 歩行者が通行可能（軽トラック等は通れる場所もある）
  - 道路跡が残っている（路面状態により歩ける場所もある）
- ☀ 車止め

### 3. 組織体制の検討に向けた維持管理内容の精査

- 組織体制の検討に向けて、まずは維持管理内容の精査が必要と判断し、管理目標WGにて整理された内容の再検討を始めました。
- この資料は検討中のもので、今後、これを見直していきます。
- 維持管理内容の精査結果を踏まえ、必要な組織体制や資金についての検討を進めていきます。

# 維持管理内容の精査

●管理目標WGで整理した表をもとに、現状の整備状況とこれまでの意見に基づく維持管理上の課題事項を追記した表です。

地区・管理対象		維持管理	現状	現時点の課題	備考	
上池	上池 旧流路 整備地	呑み口	洪水後のゴミ除去（年1回） ※洪水流入は1.5回/年の計画	整備済み	出水時にゴミが溜まる	実績は2回/年（5年で10回）
		導水路	周辺の除草：毎年5月と7月の2回	整備済み	—	原則立入禁止方針
			堆積土砂の除去：10年に1回	整備済み	—	
			除草：毎年5月と7月の2回 300m	整備済み	通路付近から見てもらうため20m×両側程度の草刈りが必要である。	
		通路	管理用通路の除草（毎年5月、7月）旧流路沿い	整備しない方針	—	
	整備地	植生管理（オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウの除去等）：毎年13回	整備済み	オオカワヂシャが増加している。	他の外来種は現時点で問題なし	
	上池 モトクロス 場跡地 整備地	通路	管理用通路の除草（毎年5月、7月）モトA周囲	整備済み	通路に草本繁茂	
		看板	看板（5個）の補修：10年に1回	看板検討中		
			除草：看板（5個）周囲1m範囲のみを毎年5月～10月の毎月	看板検討中		
		柵	補修：10年に1回	一部設置	—	
周辺の除草：毎年5月と7月の2回			一部設置	—		
整備地	植生管理（オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウの除去等）：毎年13回	整備中	オオカワヂシャが増加している。 通路周辺および法面に左記外来種、シンジュ・ハリエンジュ、つる性草本（カナムグラ・クズ）がある。	整備した「湿地」に影響している状況では無い。委員による維持管理試行箇所では特定外来種は確認されていない。		
中池	中池 河畔林	通路	管理用通路の除草（毎年5月、7月）	通路検討中		
		看板	看板（1個）の補修：10年に1回	看板検討中		
			除草：看板（1個）周囲1m範囲のみを毎年5月～10月の毎月	看板検討中		
保全エリア	植生管理（シンジュ・ハリエンジュの伐採）：毎年1回	—	シンジュおよびつる性植物が在来植物に影響している。			
下池	下池 ハンノキ 移植地	通路	管理用通路の除草（毎年5月、7月）	通路検討中		
		看板	看板（2個）の補修：10年に1回	看板検討中		
			除草：看板（2個）周囲1m範囲のみを毎年5月～10月の毎月	看板検討中		
		実施計画範囲	植生管理（シンジュ・ハリエンジュの伐採）：毎年1回 移植したハンノキのつる性草本の除去：毎年2回	維持管理作業を軽減する整備方法を検討中である。		
地区全体	全体	不法投棄・盛土・工作物等の監視・巡視	未検討			
		市町村ゴミ収集（年10回）	未検討			
	看板	看板（2個）の補修：10年に1回	看板検討中			
	管理センター（仮称）	センター施設の補修（未設置）	未検討			
	地区周辺の管理用通路の除草・補修等		通路検討中			
	航空写真（垂直・斜め）5年に1回＋大規模出水10年に1回		未検討			
	整備地以外の植生管理（樹木伐採等）		未検討	アライグマ	モニタリング中	

●作業中の表です。  
●今後、この精査を進めます。